

イズはA-weightingフィルターで測定。*2 1 kHz バンドパスフィルターで測定。

トップパネル チャンネルセクション(入力部 ①～⑭)

① [MIC/LINE]モノラル入力端子(チャンネル1～4)

マイク、楽器、オーディオ機器を接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。

② [PAD]スイッチ

オン(▲)にすると、本体に入力した音が減衰されます。音が歪んでいるときや[PEAK]LED⑩が点灯する場合は、オン(▲)にしてください。

NOTE スイッチを切り替えるときは、ノイズが出る場合がありますので、[LEVEL]ツマミを最小「0」にしてから切り替えてください。

③ [HPF](ハイパスフィルター)スイッチ

オン(▲)にするとハイパスフィルターがかかり、80Hz以下の低い音が取り除かれます。マイクが拾った振動や風切り音を軽減するため、マイクで人の声を入力するときは通常オン(▲)にします。

④ [GAIN]つまみ

チャンネル1～4の基準となる音量を決めます。強く歌ったときや強く弾いたときに[PEAK]LED⑩が一瞬点灯する程度につまみを調節します。

⑤ [COMP]つまみ

コンプレッサーのかけ具合を調節します。つまみを右に回すと、スレッシュホールド、レシオ、出力レベルが同時に調整されます。

スレッシュホールド：+22 dBu ～ -8 dBu、レシオ：1:1 ～ 4:1

出力レベル：0 dB ～ +7 dB、アタックタイム：約 25 ms、リリースタイム：約 300 ms

⑥ [PHANTOM +48V]スイッチ/LED

スイッチをオン(▲点灯)にすると、[MIC/LINE]モノラル入力端子①のXLRプラグにDC+48Vのファンタム電源が供給されます。コンデンサマイクを使用するときは、このスイッチをオンにしてください。

注記

ファンタム電源が必要な場合、スイッチをオフ(■)にしてください。
ファンタム電源をオンにする場合、本体や外部機器の故障やノイズを防ぐために、次の内容にご注意ください。
・チャンネル1～4にファンタム電源非対応の機器を接続するときは、スイッチをオフにする。
・スイッチをオンにしたまま、チャンネル1～4でケーブルの抜き差しをしない。
・ファンタム電源のオン/オフは、チャンネル1～4の[LEVEL]つまみを最小にした状態で行なう。

⑦ イコライザー(EQ)つまみ

[HIGH]高音域、[MID]中音域、[LOW]低音域のつまみを使って音質を調整します。音質調整が不要な場合は、「▼」(フラット)の位置に設定してください。

⑧ [FX](エフェクト)つまみ MG10XU

[AUX]つまみ MG10

[FX]：各チャンネルから、内蔵エフェクトや[FX SEND]端子に送られる音量を調節します。

[AUX]：各チャンネルから、[AUX SEND]端子に送られる音量を調節します。

⑨ [PAN]つまみ(チャンネル1～4)

[BAL]つまみ(チャンネル5/6、7/8)

[PAN/BAL]つまみ(チャンネル9/10)

[PAN]：ステレオバスに送る各チャンネルの音量バランスを調整し、音像を左右(ステレオ L/R)のどの位置に定位させるかを決めます。つまみが 12 時の位置にあるときは、ステレオバス L、Rに同じ音量で送られ、音像は中央に定位します。

[BAL]：ステレオバスに送るステレオチャンネル(5/6～9/10) (L/R)の音量バランスを決めます。つまみが 12 時の位置にあるときは、ステレオチャンネル(L/R)の音がそれぞれ同じ音量でステレオバス L、Rに送られます。

[PAN/BAL]：[PAN]と[BAL]の両方の機能を備えています。[LINE](L/MONO)端子だけに音を入力した場合は[PAN]として、[LINE](L/R)の両端子に音を入力した場合は[BAL]として利用できます。

⑩ [PEAK]LED

入力した音およびイコライザー調整後の音量が大きすぎる場合(クリッピングの手前 3dBに達する場合)に、点灯します。頻繁に点灯する場合は、[GAIN]つまみ④を左へ回して音量を下げてください。

⑪ [LEVEL]つまみ

各チャンネル間の音量のバランスを調節します。基本は「◀」の位置に合わせておきます。

⑫ [TO MON■/TO ST▲]スイッチ MG10XU

チャンネル9/10に入力した音の出力先を選択します。通常は[TO ST▲]に設定してください。ただし、[USB 2.0]端子にコンピューターを接続して使用する場合は、「リアパネル USB セクション」の表にしたがって、用途によってスイッチを切り替えてください。

⑬ [LINE]ステレオ入力端子(チャンネル5/6～9/10)

電子キーボードやオーディオ機器などのラインレベルの機器を接続します。フォーン、RCAピンのプラグに対応しています。

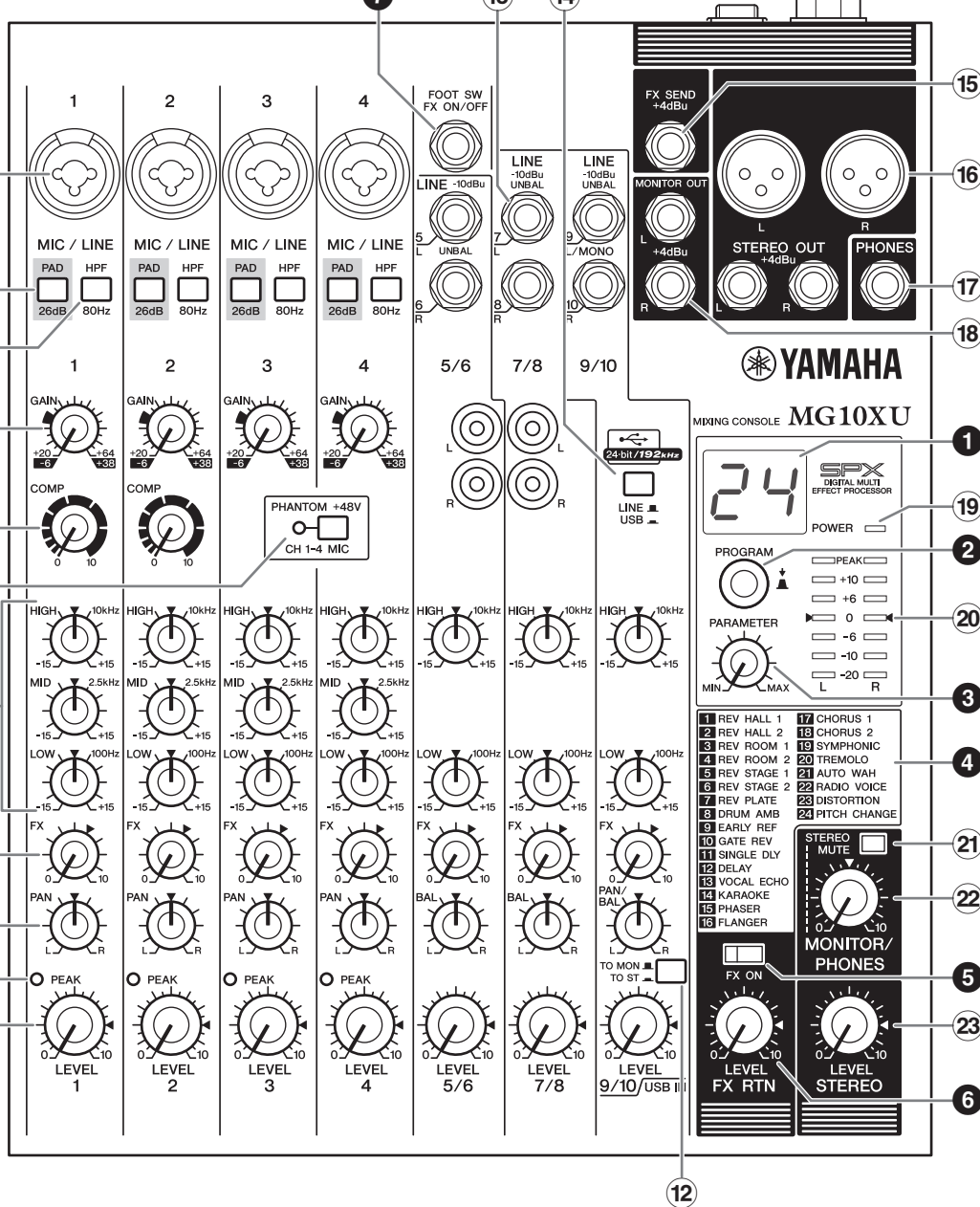
NOTE チャンネル5/6、7/8でフォーン端子とRCAピン端子の両方にプラグを接続した場合は、フォーン端子の入力が優先されます。

⑭ [LINE■/USB▲]スイッチ MG10XU

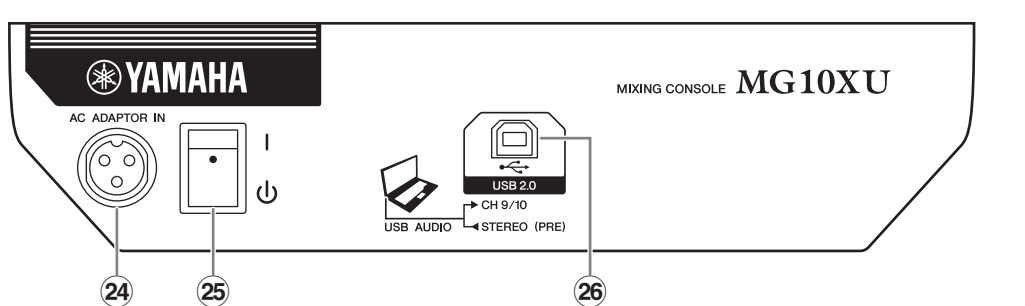
チャンネル9/10に入力する音のソースを、[LINE■]のときは[LINE]ステレオ入力端子⑬に、[USB▲]のときは[USB 2.0]端子⑳に切り替えます。

各部の名称と機能

トップパネル



リアパネル



リアパネル

⚠注意

電源オン時にはパネルの温度が上昇(15～20℃)しますが、異常ではありません。周辺の温度が30℃を超える環境では、パネルが50℃以上になる場合がありますので、やけどなどにご注意ください。

㉔ [AC ADAPTOR IN]端子

付属の電源アダプターを接続します。

㉕ ①/①]スイッチ

電源の①(スタンバイ)/①(オン)を切り替えます。
①(オン)のときにトップパネルの[POWER]LED⑩が点灯します。

NOTE

- ①/①]スイッチのスタンバイ/オンを連続して素早く切り替えると、誤動作の原因になることがあります。①/①]スイッチをスタンバイにしてから再度オンにする場合は、6 秒以上の間隔を空けてください。
- ①/①]スイッチがスタンバイの状態でも微電流が流れています。長時間使用しないときは、必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。

■ コンピューターと接続して使用する

チャンネル9/10の[LIN■/USB▲]スイッチを[USB▲]にします。用途によってチャンネル9/10の[TO MON■/TO ST▲]スイッチ㉕と[STEREO MUTE]スイッチ㉖を切り替えて、出力先とモニター音を設定します。詳しくは、右表をご覧ください。

■ コンピューターからの再生音量を調節する(アッテネーター)

1. [PROGRAM]つまみを 5 回押して、ディスプレイにアッテネーターの減衰値(dB)を表示させます。2.[PROGRAM]つまみを回して、-24dB～0dBの間で設定します(「-」(マイナス)表示は省略)。3.再度[PROGRAM]つまみを押し設定を終了します。アッテネーターが有効の場合、ディスプレイの右下にドットが点灯します。

トップパネル マスターセクション(出力部 ⑮～㉓)

⑮ [FX SEND]端子 MG10XU

[AUX SEND]端子 MG10

外部エフェクターや演奏者用のモニターシステムを接続します。[FX]つまみ、または[AUX]つまみで調節した音が出力されます。フォーンプラグに対応しています。

⑯ [STEREO OUT]端子

パワードスピーカーまたはパワアンプを接続します。XLR、フォーンの両プラグに対応しています。

⑰ [PHONES]出力端子

ヘッドフォンを接続します。ステレオフォーンプラグに対応しています。

⑱ [MONITOR OUT]端子

オペレーター用モニターシステムなどを接続します。フォーンプラグに対応しています。

⑲ [POWER]LED

リアパネルの①/①]スイッチ㉕をオンにする(①側我倒す)と点灯します。

㉒ レベルメーター

[STEREO OUT]端子から出力されるレベル(音量)を、[PEAK](+17)、「+10」、「+6」、「0」、「-6」、「-10」、「-20」dBの7段階で表示します。「PEAK」(赤)が点灯し続けたら、[STEREO LEVEL]つまみを左に回して音量を下げてください。

㉔ [STEREO MUTE]スイッチ MG10XU

オン(▲)にすると、[MONITOR OUT]端子や[PHONES]端子の出力からステレオバスの音がミュートされます。このとき、チャンネル9/10の[TO MON■/TO ST▲]スイッチ㉕を[TO MON■]にすることで、チャンネル9/10の音だけを聴くことができます。スイッチの詳しい説明は、下の「リアパネル USB セクション」をご覧ください。

㉔ [MONITOR/PHONES]つまみ

[MONITOR OUT]端子と[PHONES]端子に出力される音量を調節します。

㉔ [STEREO LEVEL]つまみ

[STEREO OUT]端子から出力される全体の音量を調節します。

トップパネル 内蔵エフェクトセクション(出力部 ①～⑦) MG10XU

① ディスプレイ

②の[PROGRAM]つまみで選択したエフェクトプログラムの番号が表示されます。選択中は番号が点滅しますが、決定せずに一定時間が経過すると、前回選択した番号に戻ります。

② [PROGRAM]つまみ

内蔵エフェクトを1～24の24種類のエフェクトプログラムから選択します。エフェクトのかけ方は表面の「エフェクトをかける」の欄をご覧ください。

NOTE [PROGRAM]つまみを押しながら回すことで(押して決定することなく)、エフェクトプログラムを選択することもできます。

③ [PARAMETER]つまみ

選択したエフェクトプログラムのパラメーター(エフェクトの効き具合や変化の速さなど)を調整します。パラメーターの値はエフェクトプログラムごとに保存されます。パラメーターについては表面の「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

NOTE エフェクトプログラムを切り替えたときは、[PARAMETER]つまみの位置に関係なく、前回そのエフェクトで設定した値が有効になります。いったん[PARAMETER]つまみを回すと、つまみの位置の値が有効になります。

④ エフェクトプログラムリスト

内蔵エフェクトプログラムのリストです。プログラムの詳細については、表面の「エフェクトプログラム一覧」をご覧ください。

⑤ [FX ON]スイッチ

オン(▲)にすると、内蔵エフェクトが有効になり、スイッチが点灯します。オン(▲)のときに、フットスイッチで内蔵エフェクトをオンにすると、スイッチのLEDが点滅します。

⑥ [FX RTN LEVEL]つまみ

内蔵エフェクトの音量を調節します。

⑦ [FOOT SW]端子

別売のフットスイッチ(ヤマハFC5 などのアンラッチタイプ)を接続します。フットスイッチを接続すると、⑤の[Fx ON]スイッチがオン(▲)に設定されているときに、内蔵エフェクトのオン/オフを足元で切り替えることができます。フォーンプラグに対応しています。

保証書

品 名		ミキシングコンソール		本書は、本書記載内容で無償修理を行う事をお約束するものです。 お買上げの日から左記期間中に故障が発生した場合は、 本書をご提示の上お買上げの販売店に修理をご依頼ください。 ご依頼の際は、購入を証明する書類（レシート、売買契約書、納品書など） をあわせてご提示ください。 （詳細は下項をご覧ください）	
※品 番					
※シリアル番号					
保 証 期 間		本 体	お買上げの日から1ヶ年間		
※お買上げ日		年 月 日			
お 客 様					
	ご住所				
	お名前 様				
売 店	電 話			()	
	所在地				
※販 店 名 印					

株式会社ヤマミュージックジャパン PA営業部
〒103-0015
東京都中央区日本橋崎町41番12号 KDX崎町ビルF
TEL. 03-5652-3850

株式会社ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015

東京都中央区日本橋箱崎町41番12号 KDX箱崎ビル1F

TEL. 03-5652-3850

保証規定

1. 保証期間中、正常な使用状態（取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態）で故障した場合には、無償修理を致します。

2. 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合は、商品と本書をご持参ご提示のうえ、お買上げ販売店にご依頼ください。

3. ご贈答品、ご転居後の修理についてお買上げの販売店にご依頼できない場合には、※ヤマハ修理ご相談センターにお問合わせください。

4. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
（1）本書のご提示がない場合。
（2）本書にお買上げの年月日、お客様、お買上げの販売店の記入がない場合、及び本書の字句を書き替えられた場合。

（3）使用上の誤り、他の機器から受けた障害または不当な修理や改造による故障及び損傷。
（4）お買上げ後の移動、輸送、落下などによる故障及び損傷。
（5）火災、地震、風水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、異常電圧などによる故障及び損傷。

※ご購入いただきましたお客様のお名前、ご住所などの個人情報、本保証規定に基づく無料修理に関する場合のみ使用致します。取得した個人情報適切に管理し、法令に定める場合を除き、お客様の同意なく第三者に提供することはありません。

※その他の連絡窓口につきましては、本取扱説明書をご参照ください。

アフターサービス

お問い合わせ窓口

お問い合わせや修理のご依頼は、お買い上げ店、または次のお問い合わせ窓口までご連絡ください。

●機能や取り扱いに関するお問い合わせ

ヤマハ・プロオーディオ・インフォメーションセンター

0570-050-808

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **03-5652-3618**

受付 月曜日～金曜日 11:00 ～ 19:00

（土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く）

FAX 03-5652-3634

オンラインサポート http://jp.yamaha.com/support/

●修理に関するお問い合わせ

ヤマハ修理ご相談センター

0570-012-808

※固定電話は全国市内通話料金でご利用いただけます。通話料金は音声案内で確認できます。

上記番号でつながらない場合は **053-460-4830**

受付 月曜日～金曜日 11:00 ～ 17:00

（土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く）

FAX 03-5762-2125 東日本（北海道／東北／関東／甲信越／東海）

06-6649-9340 西日本（北陸／近畿／四国／中国／九州／沖縄）

修理品お持込み窓口

受付 月曜日～金曜日 11:00 ～ 17:00

（土曜、日曜、祝日およびセンター指定休日を除く）

*お電話は、ヤマハ修理ご相談センターでお受けします。

東日本サービスセンター

〒143-0006 東京都大田区平和島 2丁目 1-1

京浜トラクター・ミナリ 14 号棟 A-5F

FAX 03-5762-2125

西日本サービスセンター

〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中 1 丁目 13-17

ナノン(社)本社ビル 7F

FAX 06-6649-9340

●販売元

(株)ヤマハミュージックジャパン PA営業部

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町 41-12

KDX 箱崎ビル 1F

*名称、住所、電話番号、営業時間、URLなどは変更になる場合があります。

ヤマハ プロオーディオ ウェブサイト

http://www.yamahaproaudio.com/japan/

ヤマハダウンロード

http://download.yamaha.com/

ASCAMPAMPPCA6

Manual Development Department

© 2013 Yamaha Corporation

2016年9月 改訂 MWLE*. **CO

Printed in Malaysia